



食物アレルギー

家庭・園と学校・病院 それぞれのみかた



～ 子どもたちのために 最善の道を探る ～

2019年

7/7 [日] 午後 2:00
～4:00 ごろ

ホテル金沢 2階 ダイヤモンド
金沢市堀川新町1-1 ☎076-223-1111
金沢駅東口から徒歩1分

＜対象＞

歯科医師、医師、医療機関のスタッフ、
保育士、養護教諭、栄養士、調理師等のほか
興味のある方はどなたでもご参加
いただけます。

◆ 定員 200 人

◆ 申込締切 7/1 [月]

定員に達した場合は、申込締切より前に締め切
る場合があります。お早めにお申し込み下さい。

無料
申込み必要
(裏面参照)

講師 武石 大輔 氏
(城北病院 小児科)

～ご案内～

昨年11月に開催して好評を博した武石大輔先生の食物アレルギー講演会をもう一度開催します。食物アレルギー問題に直面している皆さんと、アレルギーについての理解を深め、連携促進に役立てていただくために、今回は少し視点を変えて企画してみました。

前回の講演会では、IgEの血液検査と症状は必ずしも一致しないこと、口から入ったアレルゲンより、湿疹のある皮膚の方が発症リスクが高いこと、牛乳・小麦は3歳、卵は6歳で6割が自然治癒するが、小学校まで持ち越すと治りにくいくこと、心配のあまり離乳食の開始時期を遅らせると、アレルギー発症の危険性が高くなること等、多くのことを学びました。

また、食物アレルギーの考え方について、2005年では原因食物の除去が基本だったのが、2012年になると症状を起さずに食べることに変わり、2016年には治療ではなく栄養指導へと変化してきました。経口(減感作)療法では、症状が現れない最大量を繰り返し食べ、定期的に少しづつ食べる量を増やしていくこと、治療中はアレルギー症状が出ることやアレルギー症状が出た後も間を空けずに翌日も続けること等も理解しました。

今回、講師の武石先生には、より身近な問題や疑問点、相互理解が困難な事例などを分かりやすく解説して頂きます。異なる立場の方々の現状や苦悩を知り、双方向に意見交換ができる機会となることを願っています。奮ってご参加ください。

※講師に質問のある方は裏面からお寄せください。



主催：石川県保険医協会

金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル8階

T E L 076-222-5373

F A X 076-231-5156

Emai1 ishikawa-hok@doc-net.or.jp

後援：(申請中)



2019年7/7 [日] 午後2:00~4:00ごろ
ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

■ 食物アレルギー講演会 第2弾

食物アレルギー：家庭・園と学校・病院 それぞれのみかた ～子どもたちのために最善の道を探る～



＜講演抄録＞

講師 武石大輔

昨年「食物アレルギーのみかた」と題して、食物アレルギーの基本的なお話をさせていただいたところ、本当にたくさん的人に聞きにきていただきました。この分野に多くの人が関心を持っていることが嬉しい反面、十分に理解されていない現状もわかりました。そこで、本年もより多くの人に食物アレルギーのことを知っていただくために、基本的なことを中心にお話しようと思っています。

また、食物アレルギーは病院で診断されますが、その後の治療・対応の現場は、各ご家庭であったり、通っている園・学校になります。それが上手く連携をとることが、子どもたちが安心して安全な生活を送るためには不可欠です。今回はその点にも注目してお話しします。

[略歴]

2003年 金沢大学卒業

2010年4月～10月 国立病院機構相模原病院でアレルギーの研修

2010年11月～2011年3月 東京慈恵会医科大学第三病院でアレルギーの研修

2011年4月～ (公社)石川労働者医療協会 城北病院 小児科で勤務

申込締切
7/1 [月]

参加申込書

FAX 076-231-5156 (保険医協会宛)

- (1) FAXでの申込みの場合 ⇒ 切り取らずこのままにFAXを送信してください。
(2) 電話またはメールでの申込みの場合 ⇒ 以下の項目をお知らせください (申込先は表面参照)。

医療機関または団体名	※団体名が特に無い場合は記入不要。	
申込者名		
電話番号	—	—
参加者名	①	(職種:)
	②	(職種:)
	③	(職種:)

※ 参加証等はありません。定員に達したため申込みを受付できない場合等に限り、主催者よりご連絡します。

◆ 講師への質問 ◆

質問がある方は以下に質問内容をご記入の上、6/24 [月] までにお送りください。